

令和5年度

春号

(第67号)

# 八尾市

## 老人福祉センター

### だより

発行

八尾市立社会福祉会館

老人福祉センター

八尾市本町2丁目4番10号

電話:072-924-8658

FAX:072-924-0974

#### 八老劇団

八老劇団は、創立五十周年に向けて只今特訓中です。

名前の由来は、八尾市の老人ばかりで結成したので「八老」です。

この八尾市立社会福祉会館老人福祉センター開館とほぼ同時の昭和48年11月からの活動です。

「寝たきりより、出たきり」のスローガンで認知症予防と生きがい作りのお芝居をすることにより若返ります。

高齢者に「今何が欲しいですか?」「夢と希望は、何ですか?」と聞けば「若い時に戻りたい。」「元気な世代に戻りたい。」「ほとんどの人がそれを叶えるのが、お芝居なのです。

若い娘にも若者にも、更には子供にまで変身ができるのです。

お腹の底から声を出し、感情表現をするとアドレナリンの幸せホルモンが出て、日常生活では得られない刺激があるのです。

八老劇団は、センター外の団体、子供会や老人クラブ、お祭りの行事などから講演依頼があれば出張して出前講演をします。  
若い人の手を借りずに全てが手作りで。



↑八老劇団 講演会の衣装合わせ

脚本から大道具、小道具、衣装にかつら、舞台に合わせた大きな吊り絵、身の回りにあるものを工夫して、作り上げる工程がまた楽しいのです。

そうした活動がマスコミに取り上げられ、テレビ、新聞の取材も度々受けま

した。

50年近い活動の中で一番うれしかったのは、全国版サントリー地域賞をもらったことです。

決して上手な演技ではありませんが、一生懸命取り込む姿が共感を得たのでしよう。

現在、コロナ禍という難しい状況の中で、宝塚歌劇の十八番であるベルサイユのばら。

ただし、こちらは「河内版・ベルサイユのばら」を創立50周年記念公演を令和5年11月25、26日にプリズムホールで行います。

老骨に鞭を打ちながら特訓中です。

どうぞ皆様、お誘いあわせの上、おこしくださいませ。

もちろん無料です。

八老劇団代表 山本 和正



## 同好会「コーラス わかば」

月一回、大広間で人数制限の中、マスクをして感覚を空け第二と第四の木曜日に分かれて、午後から活動しています。

「思いつきり息を吸って！吐いて！」

ストレッチ体操から呼吸運送。

肩の力を抜いて深呼吸。

♪ドレミレド♪ と発声練習。

だんだん響きのある声が出てきます。

緊張していた身体が解かれてきました。

日頃、生活の中で思い切り声を出して歌うことが少ないので、ストレス発散です。



↑コーラス同好会の活動の様子



↑コーラス同好会の活動の様子



↑コーラス同好会の活動の様子



↑コーラス同好会の活動の様子



↑コーラス同好会の活動の様子

季節ごとの慣れ親しんだ日本の童謡や唱歌を曲のエピソードなど解説をききながら、十曲近く歌います。

最後に指揮に合わせてピアノ伴奏で、みんなと声を合わせて歌うと、心地よく、心豊かな気持ちになります。

歌い終わって、笑顔になって帰宅します。

会員四十七名、厚さ寒さに負けず、老人センターに足を運び思い切り声を出し歌い、心身ともいつまでも元気に過ごせるよう歌を楽しんでいます。

なお、第二木曜日のクラスに若干の空席があります。

ご希望の方がありましたらお問い合わせ下さい。

会長 松本 治子